

第 1 節 国における所要の法制の整備

国は、国民保護法第 171 条の規定に基づき、武力攻撃災害の復旧に関する措置に係る財政上の措置について、速やかに、法整備のための所要の措置を講ずることとされている。

また、大規模な武力攻撃災害が発生したときは、武力攻撃災害による被災状況等を踏まえつつ、本格的な復旧に向けての国全体としての方向性について速やかに検討することとされている。

町は、国が示す方針に従って、府と連携し、町域の復旧を行う。

第 2 節 所要の法制が整備されるまでの復旧

- 1 町は、武力攻撃災害により被災した地域の社会経済活動が低下する状況にかんがみ、被災した地域、施設又は設備の復旧については、可能な限り迅速に行う。
- 2 町は、被災の状況、地域の特性、関係する公共的施設の管理者の意向等を勘案しつつ、迅速な復旧を目指すとともに、必要があると判断するときは、地域の実情等を勘案して、当面の復旧の方向を定める。
- 3 町は、復旧にあたって、その対象となる施設の被害の状況、町及び府が定めた当面の復旧の方向等を考慮して実施する。